

**年度モニタリング
(平成 27 年度)**

施設名称	南部児童センター 南部児童センター学童保育所外 7 学童保育所
施設概要	<p>【南部児童センター】 所在地：〒285-0806 千葉県佐倉市大篠塚 1587 番地(南部保健福祉センター内、複合施設) 施設構造：鉄筋コンクリート造、地上 2 階建 敷地面積：8,372 m² 延床面積：718 m² (学童保育所部分 44 m²) 建築年月：平成 11 年 12 月 開設年月：平成 12 年 4 月 施設内容：事務室、遊戯室、図書室、和室、学童保育室 (1 室)</p> <p>【南部児童センター学童保育所】 所在地：〒285-0806 千葉県佐倉市大篠塚 1587 番地(南部児童センター内) 施設構造：鉄筋コンクリート造、地上 2 階建 敷地面積：8,372 m² 延床面積：718 m² (学童保育所部分 44 m²) 建築年月：平成 11 年 12 月 開設年月：平成 12 年 4 月 定員：45 名 対象学年：1 年生～6 年生</p> <p>【根郷学童保育所】 所在地：〒285-0815 千葉県佐倉市城 454 番地(単独施設、根郷小学校敷地内) 施設構造：木造、地上 1 階建 敷地面積：26,572 m² 延床面積：142 m² 建築年月：平成 16 年 3 月 開設年月：平成 5 年 4 月 定員：55 名 対象学年：1 年生～3 年生</p> <p>【第二根郷学童保育所】 所在地：〒285-0815 千葉県佐倉市城 454 番地(根郷小学校内) 施設構造：鉄筋コンクリート造、地上 3 階建 敷地面積：26,572 m² 延床面積：4,928 m² (学童保育部分 64 m²)</p>

建築年月：昭和 54 年 3 月

開設年月：平成 20 年 10 月

定員：30 名

対象学年：4 年生～6 年生

【山王学童保育所】

所在地：〒285-0807 千葉県佐倉市山王 1 丁目 44 番

施設構造：鉄筋コンクリート造、地上 3 階建

敷地面積：29,023 m²

延床面積：4,380 m²（学童保育部分 144 m²）

建築年月：平成元年 3 月

開設年月：平成 20 年 10 月

定員：65 名

対象学年：1 年生～6 年生

【大崎台学童保育所】

所在地：〒285-0817 千葉県佐倉市大崎台 4 丁目 3 番地 2 号（単独施設、根郷保育園敷地内）

施設構造：木造、地上 2 階建

敷地面積：2,800 m²

延床面積：88 m²

建築年月：平成 3 年 12 月

開設年月：平成 4 年 2 月

定員：30 名

対象学年：1 年生～6 年生

【寺崎学童保育所】

所在地：〒285-0817 千葉県佐倉市大崎台 4 丁目 4 番 1 号（寺崎小学校内）

施設構造：鉄筋コンクリート造、地上 3 階建

敷地面積：28,497 m²

延床面積：1,897 m²（学童保育部分 63 m²）

建築年月：昭和 62 年 3 月

開設年月：平成 20 年 10 月

定員：60 名

対象学年：1 年生～3 年生

【弥富学童保育所】

所在地：〒285-0072 千葉県佐倉市岩富町 151 番地

施設構造：鉄筋コンクリート造、地上 2 階建

敷地面積：1,147 m²

	<p>延床面積：795 m²（学童保育部分 94 m²）</p> <p>建築年月：平成 21 年 3 月</p> <p>開設年月：平成 21 年 4 月</p> <p>定員：50 名</p> <p>対象学年：1 年生～6 年生</p> <p>【和田学童保育所】</p> <p>所在地：〒285-0065 千葉県佐倉市直弥 59 番地</p> <p>施設構造：鉄筋コンクリート造、地上 2 階建</p> <p>敷地面積：759 m²</p> <p>延床面積：565 m²（学童保育部分 31 m²）</p> <p>建築年月：昭和 50 年 3 月</p> <p>開設年月：平成 23 年 12 月</p> <p>定員：15 名</p> <p>対象学年：1 年生～6 年生</p>
施設の設置目的	<p>児童センターは、児童福祉法に規定された児童厚生施設であり、地域の児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として設置された施設である。</p> <p>学童保育所は、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に、授業の終了した放課後及び長期休業その他学校休業日、土曜日等において、家庭に代わる生活の場を提供し、適切な遊びや指導を通して、児童の健全育成を図るとともに、子育てと仕事の両立を支援することを目的とする。</p>
指定管理者	社会福祉法人 愛光
指定期間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
委託料	461,947,865 円（平成 27 年度支払額 92,389,572 円）
市所管課	健康こども部子育て支援課
第三者	南部児童センター運営委員会 委員

①業務点検

評 価	説 明
S（優良）	適格に実施され、特に優れた成果が認められる。
A（適格）	適格に実施されている。
B（概ね適格）	適格に実施されているが、改善の余地がある。
C（要改善）	適格に実施されておらず、ただちに改善する必要がある。
－（該当なし）	該当する事例がない。または、評価することができない。

区 分	評価項目	評価欄	
		指	市
I 業務に関する基準			
1 基本事項			
開所時間	開所時間が厳守され、速やかに業務が開始されているか。	A	A
管理範囲	管理範囲が厳守され、利用者を妨げることはないか。	A	A
利用制限	正当な理由なく利用者の利用を制限していないか。	A	A
適正利用	利用・減免等の手続は規定ののっとり正規に行われているか。	S	A
利用料金	利用料金の減免の基準、範囲・件数は適正か。	A	A
法令遵守	関連規定を理解し、法令遵守が確保されているか。	A	A
2 維持管理業務に関する基準			
清 掃	屋内・屋外ともに美観が維持されているか。	S	S
	清掃は利用者の妨げにならない時間帯に行っているか。	A	A
	定期清掃は規定の回数・基準を達成しているか。	A	A
廃棄物処 理	適正な方法（分別等）と頻度により廃棄されているか。	A	A
	廃棄物の減量に努めているか。	A	A
環境衛生	必要な検査等は規定の回数・基準を達成しているか。	A	A
	快適に利用できる環境となっているか。	S	S
公共料金支 払	公共料金は滞りなく支払われているか。	A	A
景観維持	屋外の景観が維持されているか。	S	A
備品管理	備品管理台帳が整備され、適切に記録されているか。	A	A
	利用に支障をきたす状態のまま放置されていないか。	A	A
修 繕	適切に修繕を行うとともに、市への報告を行っているか。	A	A
	利用に支障をきたす状態のまま放置されていないか。	A	A
	消耗品の補充・管理は適正に行われているか。	A	A
警 備	入退者管理、施錠管理、巡視等は適切に行われているか。	A	A
	夜間・休所（館）日警備に支障はないか。	A	A
保守点検	法定点検その他定期点検を遅延なく確実に実施しているか。	A	S

	点検によって発見された不具合の報告を適切に行っているか。	A	A
安全点検	施設内・施設外に危険箇所はないか。	A	A
	避難経路や消防設備の付近に障害物はないか。	A	A
駐車場	設備の損傷や危険物、違法駐車はないか。	B	B
	事故・盗難等の発生について市への報告を怠っていないか。	A	A
3 施設運営業務に関する基準			
利用手続	使用許可や利用料金徴収の手続きは適正に行われ、迅速かつ円滑か。	A	A
利用料金 徴収	出納簿等は整備されているか。	A	A
	現金は必要最小限とし、盗難・紛失等のないよう管理されているか。	A	A
	利用料金の額、支払方法、減免基準等について、周知は十分か。	A	A
物品販売 等許可	物品販売、寄付の募集、広告物の掲示・配布等の許可が適切に行われ、利用者の妨げとなっていないか。	A	A
記録業務	日報や各種記録（文書・画像・音声・映像等）を行い、整理しているか。	A	A
広報活動	利用者への掲示物・案内等はわかりやすく用意されているか。	A	S
	各種広報活動により利用者への周知が図られているか。	A	A
	パンフレット・チラシ等の在庫切れはないか。	A	A
	Web サイトは利用しやすく、適宜更新されているか。	A	A
意見等 受付	意見・要望・苦情等の受付手段及び機会は適切か。	A	A
	受け付けた意見・要望・苦情等を記録し、改善に努めているか。	A	A
相談業務	相談内容及び個人情報の保護は徹底されているか。	A	A
	相談事業の利用方法について周知は十分か。	A	A
企画事業	事前に計画書を文書で市に提出し、承諾を得た上で実施し、実施後適切に報告を行っているか。	A	A
	企画事業の内容、実施回数、参加費の額は適切か。	A	A
留意事項	拾得物台帳を作成し、拾得物を所轄の警察署に届けているか。	A	A
	管理運営の実施等に関する市の調査に協力しているか。	A	A
【児童センター】			
日常業務	遊ぶ際に守るべき事項が、利用者に理解できるように周知されているか。	A	A
	乳幼児と保護者が日常的に利用しやすく、保護者同士が交流する機会が設けられているか。	S	A
	異なる学校や年齢の児童が交流できる場となっているか。	A	A
	中高生が利用しやすい場となっているか。	S	S

【学童保育所】			
利用手続	使用許可や利用料金徴収の手続きは適正に行われているか。	A	A
統括施設	統括施設（児童センター）から各学童保育所へのフォロー体制は整備されているか。	S	A
日常事業	学童での1日の過ごし方は望ましい内容か。	A	A
	保護者への対応、コミュニケーションはとれているか。	A	A
	学校との連絡体制は適切にとられているか。	A	B
4 経理事項に関する基準			
財務処理	財務事務処理規程が定められ、遵守されているか。	A	A
区分会計	区分会計により独立した帳簿及び預金口座で管理しているか。	A	A
帳簿管理	帳簿書類等は適切に保存されているか。	A	A
5 独自事業に関する基準			
事業計画	独自事業の実施にあたり、事前に計画書を市へ提出しているか。	A	A
6 目的外業務に関する基準			
行政財産 使用許可	目的外業務（公衆電話設置等）の実施にあたり、行政財産使用許可申請を行っているか。	—	—
	目的外業務の実施による利用者への妨げはないか。	—	—
II 運営体制・組織に関する基準			
1 基本事項			
労務責任	業務従事者の労務に関し法令が遵守され、責任ある体制となっているか。	S	A
	業務従事者から労務に関する苦情等が出ていないか。	A	A
	労働時間の管理は適切になされているか。	A	A
資格・免許	必要資格及び免許等が取得されているか。	A	A
許認可等	必要な許認可及び届出等が行われているか。	A	A
2 実施体制に関する基準			
人員配置	業務主任担当者及びスタッフの人員配置は適切か。	A	A
研修等	必要な訓練・教育・研修等が計画的に実施されているか。	A	A
連絡体制	指定管理者の団体本部との連絡体制は整備されているか。	A	A
接 遇	職員（スタッフ）は名札及び清潔な服装を着用しているか。	A	A
	職員（スタッフ）のあいさつが徹底され、親切・丁寧な対応がなされているか。	A	A
3 一部業務委託（再委託）に関する基準			
委託範囲	再委託の範囲及び委託先の選定は適切か。	A	A
報 告	再委託の計画及び契約書等について市へ提出しているか。	A	A
履行確認	再委託業務の履行確認は適切に行われているか。	A	A
4 運営協力体制に関する基準			

協力体制	関係機関、団体、住民等と十分な連携が図られているか。	A	A
5 安全管理・危機管理に関する基準			
平常時	保守点検、巡視等は適切に行われているか。	A	A
体制整備	危機管理計画及び危機管理マニュアル等は整備されているか。	A	A
	非常時の連絡体制は確立されているか。	A	A
事故災害対応	事故・災害等発生時は市へ直ちに報告され、適切に対処したか。	A	A
損害賠償	第三者への損害賠償は適切に行われているか。	—	—
保険加入	必要な保険に加入し、その範囲は適正か。	A	A
6 個人情報保護・情報公開・情報管理に関する基準			
守秘義務	業務上知り得た秘密を他人に漏らしていないか。	A	A
個人情報保護	個人情報保護条例に基づき、適切に処理されているか。	A	A
情報公開	情報公開条例に基づき、適切に処理されているか。	A	A
	総合的かつ積極的な情報公開の推進が図られているか。	A	A
情報管理	情報管理計画及び情報管理マニュアル等は整備されているか。	A	A
	情報セキュリティ（コンピュータウィルス対策等）は万全か。	A	A
7 事業計画及び事業報告に関する基準			
書類提出	事業計画及び事業報告は規定どおりに提出されているか。	A	A
	事業計画及び事業報告の内容に虚偽及び重大な誤りはないか。	A	A
8 連絡調整に関する基準			
連絡会議	市との連絡会議を適宜行い、十分な調整は図られているか。	A	A

[意見記述欄] 業務点検			
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 日々の清掃を中心として、外観の美観や整備に努めてきました。また、利用者ニーズにできるだけ応えるようにしたところ、今までになく多くの方々に来館いただきました。 児童センターの利用者増に加えて、複合施設の南部地域福祉センター並びに南部保健センター、さくらんぼ園の利用者増もあり、慢性的に駐車場が不足しています。近隣の空き地等を借用して対応しておりますが、借用にも限界があり、借用地からの距離等がある関係で、必然的に路上駐車をされる方や個人駐車場に無断駐車される方が後を絶たない状況です。 新たに駐輪スペースを拡張したところ、放置される自転車は激減し、他の利用者の通行の妨げが改善されてきました。 学童保育所における子どもの事故対応として、問題が発生した場合は児童センターへ連絡するように徹底しています。応援体制を図ることで、可能な限り通常の保育を継続することで利用者の皆様に迷惑をかけないようにしてきました。また、保護者からの相談や要望等、保護者の都合に合わせて、業務担当主任と同席し、面談を実施する 		

	<p>などして問題解決を図ってきました。</p>
<p>市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃委託業者を変更したことにより、清潔感あふれる施設となったことも利用者の拡大に広まったと認識しております。 ・駐車場については、絶対的台数が決まっておりますので施設全体管理者として、イベントや事業等がバッティングしないよう施設長同士で連絡調整し運営してください。 ・施設の破損・いたずら等が発生した場合、再発防止に努めてください。 ・学童の運営については怪我等が発生した場合、応援体制を図り配置基準を遵守し更なる事故の防止に努めてください。また事故等があった場合は速やかに市に報告するよう努めてください。 ・学校との連携に苦慮している点は承知しておりますが、スムーズな連携が取れるよう努めてください。 ・中高生のスポーツ大会等開催し、中高生の居場所作りに努めていただきました。

②利用状況等分析

児童センター	前年度 実績値	今年度 計画値	今年度 実績値	対前年度比 (%)	対計画値比 (%)
延べ利用者数(人)	24,027	25,000	30,168	125.6	120.7

学 童	前年度 実績値	今年度 計画値	今年度 実績値	対前年度比 (%)	対計画値比 (%)
利用料金収入(円)	15,871,500	17,811,000	17,827,000	112.3	100.0
減免申請者数/月	57	—	73	128.0	—
登録児童数/月 根郷学童	69	69	70	101.4	101.4
第二根郷学童	14	26	22	157.1	84.6
山王学童	31	33	32	103.2	97.0
大崎台学童	35	39	38	108.6	97.4
寺崎学童	40	45	46	115.0	102.2
弥富学童	9	8	11	122.2	137.5
和田学童	12	13	17	141.7	130.8

【意見記述欄】 利用状況等分析

指定管理者	<p>アンケート調査や日常の会話などを参考に、ご利用いただいている方々の利便性について取り組んできました。その結果、児童センター、学童保育所ともに前年を上回って多くの方に利用して頂くことができました。</p> <p>こどもの日、県民の日の開館をはじめ、利用者のニーズに合わせた新規事業の展開を図ったところ、児童センターは乳幼児層を中心に利用の増加が見られました。また、気持ち良く利用していただくためにユニバーサルデザインに配慮したテーブルやソファを共有スペースに配置したことで、小さなお子様から幅広い年齢層の方まで、利用頻度も高く、長い時間児童センターに滞在していただけたと考えられます。また、中高生の来館者も増加傾向にあります。来館の目的は「遊び」だけでなく、私生活上の問題についての相談も多くあります。押し付け的な「指導」をさげ、可能な限り傾聴に徹するこ</p>
-------	---

	<p>とで、相談の中から自己解決を図れるようにしてきました。問題が深刻な場合は、関係機関につないだり紹介したりすることもありました。</p> <p>学童保育所においては、定員超えの過密状況対策として、比較的定員に余裕のある学童保育所へマイクロバス移送を行うことで待機児童をださずに入所希望児童を受け入れ、保育を行いました。年齢が高くなるに従って、徐々に一人で留守番することが可能になることから、高学年の利用者数は多くはありませんが、低学年児童の受け入れを積極的に行ってきました。</p>
<p>市</p>	<p>アンケート調査から利用者のニーズを把握し、対応していました。備品の入替えを図り、より利用者の使いやすい施設として運営していただくことができたと思っております。</p> <p>また、長期休暇中の学童保育所の過密解消に取り組み、結果として待機児童を出すことなく全ての希望者が学童を利用することができました。法人所有のマイクロバスで送迎することにより、広いエリアでの子供達の交流ができたことを市として高く評価しております。今後もエリア内での子供達が交流できるような運営をお願いします。</p>

③経営分析

経営分析指標 (児童センター)	前年度 実績値	今年度 計画値	今年度 実績値	対前年度比 (%)	対計画値比 (%)
収入 (円)	37,234,954	37,233,680	37,234,284	100.0	100.0
支出 (円)	36,227,854	41,631,444	40,968,055	113.1	98.4
収支 (円) 〈収入－支出〉	1,007,100	-4,397,764	-3,733,771	-4,740,810	+663,993
人件費比率 (%) 〈人件費／支出〉	66.6	67.5	68.4	—	—
再委託費比率 (%) 〈再委託費合計／支出〉	20.3	21.9	21.9	—	—
利用者当たり管理コスト(円) (支出／述べ利用者数)	1,508	1,489	1,201	79.6	80.7
利用者当たり市負担コスト (円) (委託料／述べ利用者数)	1,550	1,489	1,234	79.6	82.9

経営分析指標 (学 童)	前年度 実績値	今年度 計画値	今年度 実績値	対前年度比 (%)	対計画値比 (%)
収入 (円)	71,031,427	72,969,136	72,986,444	102.8	100.0
支出 (円)	61,686,890	68,360,876	63,381,342	102.7	92.7
収支 (円) 〈収入－支出〉	9,344,537	4,608,260	9,605,102	102.8	208.4
利用料金比率 (%) 〈利用料金収入／収入〉	22.3	24.4	21.7	—	—
人件費比率 (%) 〈人件費／支出〉	90.8	90.4	93.0	—	—
再委託費比率 (%) 〈再委託費合計／支出〉	0.9	1.4	1.5	—	—
利用者当たり管理コスト(円) (支出／平均登録数(月))	293,747	293,394	269,708	119.3	119.4
利用者当たり市負担コスト (円) (委託料／平均登録数(月))	262,650	236,723	234,709	89.4	99.1

経営分析指標 (全 体)	前年度 実績値	今年度 計画値	今年度 実績値	対前年度比 (%)	対計画値比 (%)
収入 (円)	108,266,381	110,202,816	110,220,728	101.9	100.0
支出 (円)	97,914,744	109,992,320	104,349,397	106.6	94.9
収支 (円) 〈収入－支出〉	10,351,637	210,496	5,871,331	56.8	2,789.3

[意見記述欄] 経営分析	
指定管理者	<p>児童センターの予算に委託業者の見直しと施設備品の入替え費用を確保し、施設環境整備に反映させました。</p> <p>学童保育所では過密状況にも関わらず対策をとって入所希望児童を受け入れたことで利用料収入の増加が大きく出ました。</p> <p>今後は、老朽化した備品、設備の管理運営の改善を図るために予算計画を行い、より快適な施設利用のための価値ある支出につなげてまいります。</p>
市	<p>児童センターは委託業者の見直しにより、支出が増えておりますが、利用者数・施設の美観については、支出以上の効果があらわれていると思われまます。また、学童を拡張したことにより利用料収入が増えておりますが、拡張したことにより全体児童数も増えていることから、事故等が発生しないよう配置基準を遵守し、運営してください。</p> <p>今年度は児童センターの備品入替え等を実施していただきましたが、来年度以降も現場のニーズを把握し運営してください。</p>

④業務実施状況確認

【児童センター、学童保育所 中・長期計画】

事業計画・目標	実施状況・効果
地域貢献 地域における子育て支援事業	福祉学習等とおした生徒との触れ合い 法人行事や自治会行事での子どもとの触れ合い
児童（障害児）から高齢までの包括支援 南部地域エリア「福祉のまち」の完成	児童から高齢者までの総合的福祉サービスを地域中心に展開。児童・障害・高齢と福祉にとってのコア部分がワンストップサービスで可能になる。

【児童センター 単年度計画】

事業計画・目標	実施状況・効果
中高生向け事業計画 乳幼児や小学生向けとは差別化した、「中高生が集える場所の提供」	小中学生向けの図書の実装を図るため、コミック本を蔵書。遊具貸出しまでの待ち時間も楽しく過ごしていただきました。中高生専用時間帯を設け、中高生を対象としたバスケットボール大会は本格的な雰囲気も味わえ好評でした。
親子のふれ合いを深め、「楽しい子育て」ができるような支援	利用者の声、日常の疑問に寄り添った新規事業を実施。 募集定員をはるかに超える応募があった、ママも子どもも一緒に参加の「ピラティス」、外部機関に協力を依頼して企画した「幼稚園説明会」などは、「次回の展開が楽しみ」と次なる来館へつなげる事業となりました。

【学童保育所 単年度計画】

事業計画・目標	実施状況・効果
放課後健全育成事業の確立 ・放課後の生活の場の提供 ・安全・安心な保育環境の整備	過密状況が深刻化する南部エリア学童保育所での入所希望児童の受け入れ策を実施致しました。 夏季休業中に行ったマイクロバスでの移送による弥富学童保育所での保育は、自然豊かな学童保育所ならではの生活を子どもたちが体験できる貴重な場となりました。 また入所児童数の増加が見られる学童保育所を中心に保育室のレイアウトを変更。学童保育所の資産を有効に使うことで保育スペースの確保ができました。

【意見記述欄】 業務実施状況確認

指定管理者	<p>児童センター、学童保育所とも、中・長期計画を軸として地域、利用者の声に寄り添った単年度事業を実施致しました。</p> <p>児童センターの「幼稚園説明会」や学童保育所の「マイクロバスでの移送」は当初の計画に含まれていたものではありませんでしたが、利用者がその時必要としているサービスを佐倉市と熟慮しながらタイムリーに提供できたことで多くの利用者に高い満足度を御得て頂きました。</p> <p>今後も日常の利用者との貴重なやりとりの中から、利用者が必要としていることを模索し、指定管理者としてより必要とされるサービス提供に寄与してまいります。</p>
市	<p>児童センター・学童共に新規で実施していただきました事業については、非常に好評であった旨報告をいただいておりますので、今後も継続的に実施できるよう努めてください。また地域との交流も活動的に実施していただいておりますので、今後も地域の中の児童センターを目指した運営に努めてください。</p>

⑤利用者満足度調査報告

実施方法等	調査結果を今後の施設運営に活かしていくことを目的として、児童センター及び各学童保育所における利用者を対象にアンケート調査を実施しました。 調査期間 平成27年11月1日～11月30日
回答数等	児童センターは、来館者にアンケート用紙を配布し、退館時に回収しました。 学童保育所は、利用者家庭数195枚を配布し、利用時に提出していただきました。
実施結果	児童センター【提出数】総計 263枚 学童保育所【回収枚数】 122枚 【回収率】 62.6%

回答者の意見等	対応策等
○「お子様は嫌がらずに学童保育所に行きますか。」との間に、ほとんどのお子様が「楽しみにしている」との回答でしたが、若干名のお子様が、「友だち関係のトラブル」を理由に、渋っているとの回答がありました。	○友だち関係のトラブルは、学校から問題を引きずって来たり、一緒に遊ぶことが難しかったりなど、その原因は様々ですが、学校（担任）との情報の共有を蜜にし、一人のお子様をみんなで見ていく心構えで解決を図っていきたいと思います。
○「学童指導員の対応に満足していますか。」の間に、多くの方々は「満足している」との回答を頂きましたが、若干名の方から「指導員の対応・力量」についてご意見をいただきました。	○できるだけきめこまやかな保育を目指して日々取り組んでいるところですが、さらに外部研修は内部研修等を積み重ねることによって、一人ひとりの指導員のスキルアップを図ってまいります。
○学童で改善してほしい点がありますか。との間に、「学童室を広くしてほしい」「スタッフの名前だけでなく、写真も勤務者の名前の横に付けてほしい」などのご意見をいただきました。	○過密化状態の学童保育所については、佐倉市と協議を進めながら、改善に努力をしていきたいと思います。 ○吊り下げ型とバッジ型両方の名札を用紙して、着用の徹底を図っているところですが、写真と氏名の掲示など、さらに工夫をしていきたいと思います。
○「学童保育所で、どのようなサービスを期待しますか。」の間に、長期休業中などに弁当やおやつを提供を希望される方がいらっしゃいます。	○弁当の注文を受け付ける体制がありましたが、注文者がなく、自然消滅していった経緯があります。その都度広報をしているところですが、文書ではなかなか目に触れないことが多いようですので、さらに周知徹底していく方法を検討します。

<p>○「19時以降、有料でもさらに時間外保育をしてほしいというご要望がありますが、適正料金はどのくらいだと思いますか。」との間に、若干のご要望があることがわかりました。</p>	<p>○別途料金でも延長保育をして欲しいというご意見や料金設定など、様々なご要望を頂きましたが、大多数の方々には別途料金がかかるのであれば、19時以降の時間外保育は必要ないのご意見でした。さらなる要望があるまで、このままの対応を継続していきたいと思えます。</p>
<p>○「学童保育所で、習い事をしてほしいというご要望がありますが、別途料金が発生しても希望しますか。」との間に、62%の方が希望するとの回答でした。</p>	<p>○習い事の内容で多いのは、書道や珠算などの実技系の習い事でした。さらに安価な料金設定を望まれる傾向にありました。現在は、書道や珠算などへ通塾は、学校近くの塾であり、通塾できない距離ではないことと、塾業者の経営を圧迫しかねないとの理由から「静観」したいと思えます。</p>

[意見記述欄] 利用者満足度調査報告	
<p>指定管理者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・南部児童センターの利用者数が、年々増加傾向にあり、弁当持参するなどして、滞在時間も長くなってきています。館内のみならず、共有スペースの整備に努めてきた成果だと思えます。さらに遊具の充実を図り、乳幼児から中高生までが、満足度の高い児童センターを目指していきたいと思えます。 ・学童保育所の課題は、入所率180%以上の「過密化」にあります。保護者の就労支援の観点から、佐倉市と協議しながら可能な限り入所を進めていき、利用者ニーズにお応えしていきたいと思えます。
<p>市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のモニタリング時に提案いただきました児童センターの開館時間の延長につきまして検討いただき、更なる利用拡大に努めてください。 ・学童保育所につきましても、1学童以外は対象学年の変更などを実施し、翌年度中に過密状況を解消できると見込んでおります。1学童については抜本的な解消にはなりません。複合施設内の協力により待機児童を出すことなく運営できると認識しております。

⑥総合評価

[意見記述欄] 総合評価	
指定管理者	<p>南部児童センターの施設運営に加えて、複合施設である南部保健福祉センター全体の施設維持管理を行ってきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部児童センターだけでなく、複合各施設の利用者の増加傾向から、駐車場が満車状態になることが多くあります。臨時に、近隣施設や空き地を借用して対応していますが、ご高齢の方々を中心に、施設に近い路上駐車をされる方が多くいらっしゃいます。 ・これまで自転車置き場が狭く、施設から離れた場所にあったことから、施設近くに乱雑に置かれていたことから、通行の邪魔になることがありました。自転車置き場を拡張整備したところ、利用者自ら整然と駐輪するようになりました。 ・共有スペース並びに施設の外観の整備に努めました。共有スペースにイスやテーブルを配置したり、分かりやすい施設内案内を掲示したりしました。中でも、乳幼児も使えるテーブルを用意したところ、大変に好評でした。また、外観の清掃を中心に整備を行いました。 ・南部児童センターインストラクター及び各学童保育所指導員の接遇マナーについて注意を払ってきました。また、利用者ニーズを考慮した事業計画をしたところ、急激な来館者増につながりました。接遇については十分とは言えないところもありましたが、今後、研修等を繰り返しながら、子どもたちへの対応にも注意を払っていきたいと思います。
市	<p>施設の老朽化により、管理運営の中でも様々な問題点があると思いますが、来年度中には一番の課題である一部空調設備の入替工事を実施する予定となっております。今後も施設の中・長期修繕計画のもとに施設整備を図っていく予定ではありますが、何よりも日常の維持管理・点検等が最重要になりますので施設管理に努めてください。</p> <p>指定管理者2年目ということもあり、昨年度の懸案事項等を参考に維持管理に努めていただけたものと思っております。今後も地元地域と連携を図りエリアならではの運営に期待しております。</p>

**年度モニタリング〔第三者（利用団体等）評価〕
（平成27年度）**

施設名称	南部児童センター・南部児童センター学童保育所外7学童保育所
評価者・団体	南部児童センター運営委員会

〔別記2-①〕 業務点検シート

評価	説明
S（優良）	適格に実施され、特に優れた成果が認められる。
A（適格）	適格に実施されている。
B（概ね適格）	適格に実施されているが、改善の余地がある。
C（要改善）	適格に実施されておらず、ただちに改善する必要がある。
－（該当なし）	該当する事例がない。または、評価することができない。

区分	評価項目	評価欄
I 業務に関する基準		
1 基本事項		
【児童センター・学童保育所共通】		
開所時間	開所時間が厳守され、速やかに業務が開始されているか。	S
利用制限	正当な理由なく利用者の利用を制限していないか。	A
2 維持管理業務に関する基準		
【児童センター・学童保育所共通】		
清掃	屋内・屋外ともに美観が維持されているか。	A
環境衛生	快適に利用できる環境になっているか。	A
備品管理	利用に支障をきたす状態のまま放置されていないか。	A
安全管理	施設内・施設外に危険箇所はないか。	A
3 施設運営業務に関する基準		
【児童センター・学童保育所共通】		
広報活動	各種広報活動により利用者への周知が図られているか。	A
	Web サイトは利用しやすく、適宜更新されているか。	A
意見等 受付	意見・要望・苦情等の受付手段及び機会は適切か。	A
	受け付けた意見・要望・苦情等を記録し、改善に努めているか。	A
企画事業	企画事業の内容、実施回数、参加費の額は適切か。	A
【児童センター】		
日常事業	遊ぶ際に守るべき事項が、利用者に理解できるように周知されているか。	A
	乳幼児と保護者がしやすく、保護者同士が交流する機会が設けられているか。	A
	異なる学校や年齢の児童が交流できる場となっているか。	A
	中高生が利用しやすい場となっているか。	A
交流事業	地域の高齢者等と児童の交流を図る機会が設けられているか。	A

【学童保育所】		
利用手続	使用許可や利用料金徴収の手続きは適正に行われているか。	A
統括施設	統括施設（児童センター）から各学童保育所へのフォロー体制は整備されているか。	A
日常事業	学童での1日の過ごし方は望ましい内容か。	A
	保護者への対応、コミュニケーションはとれているか。	A
	学校との連絡体制は適切にとられているか。	A

区分	評価項目	評価欄
Ⅱ 運営体制・組織に関する基準		
1 実施体制に関する基準		
【児童センター・学童保育所共通】		
人員配置	業務主任担当者及びスタッフの人員配置は適切か。	A
接 遇	職員（スタッフ）は名札及び清潔な服装を着用しているか。	S
	職員（スタッフ）のあいさつが徹底され、親切・丁寧な対応がなされているか。	S
2 運営協力体制に関する基準		
【児童センター・学童保育所共通】		
協力体制	関係機関、団体、住民等と十分な連携が図られているか。	A
3 安全管理・危機管理に関する基準		
【児童センター・学童保育所共通】		
危機管理	利用者を含めた避難訓練を実施しているか	A
	災害時の学校や保護者との連絡体制は整備されているか。	A
4 個人情報保護・情報公開・情報管理に関する基準		
【児童センター・学童保育所共通】		
情報管理	個人情報の管理は適正に行われているか。	A

【別記2-⑥】 総合評価

【意見記述欄】 総合評価
<p>◎南部エリアの利用者増加は、職員の努力が大であると思う。</p> <p>◎総合的に見て、指定管理者制動を導入して3年目。南部エリアにおいては、それまでに比して「子どもの福祉」にかなう方向に、着実に進んでいることを高く評価したい。内外ともに、子どもにとって居心地の良い居場所づくりに、社会福祉法人 愛光が、そのもてる力を、物心両面を挙げて尽力している姿が窺える。利用者側だけでなく、働く側の意見も、運営委員としては知りたいところであるが、筋違いだろうか。</p> <p>◎人員配置については、利用者や学童職員の意見を聞きたい。</p> <p>◎児童センターについても、毎年新しい企画をされていて、新規の方のアプローチもとても良くされていると思う。特に、幼稚園説明会や子育てコンシェルジュをお呼びしての相談会などは、子育てママを孤立させないように、色々と工夫されていると思う。WEBも見やすく、広報誌も分かりやすいので、来場者数も伸びていると感じた。</p> <p>◎和田学童の部屋はとても狭いが、学校の体育館やグラウンドなど、その時々場所を変えて対応しているとのこと。見学時は、2Fホールに子どもたちが集まって、それぞれ好きな遊びをしており、スタッフが常に目配りをしていた。気になったのは、ホールの倉庫？の天井が、雨漏りのために穴が空いてしまっていたので、早めの修理が必要だと思う。</p>